

ダイワ・インド株ファンド (愛称：パワフル・インド)

運用報告書(全体版)

第61期(決算日 2023年9月7日)

第62期(決算日 2023年12月7日)

(作成対象期間 2023年6月8日～2023年12月7日)

■信託期間終了日を2028年6月7日から2050年6月7日に
変更しました。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2008年6月13日～2050年6月7日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株マザーファンド	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場(上場予定を含みます。)するインドの企業の株式およびDR(預託証券)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
53期末(2021年9月7日)	円 9,954	円 450	% 9.1	23,412	% 12.2	% 93.9	% 3.6	百万円 4,002
54期末(2021年12月7日)	9,615	0	△ 3.4	22,783	△ 2.7	91.1	3.6	4,120
55期末(2022年3月7日)	9,174	0	△ 4.6	21,893	△ 3.9	93.2	3.7	3,858
56期末(2022年6月7日)	10,273	200	14.2	25,131	14.8	94.6	3.2	4,200
57期末(2022年9月7日)	11,230	750	16.6	28,697	14.2	95.9	3.5	4,544
58期末(2022年12月7日)	10,285	650	△ 2.6	27,573	△ 3.9	94.0	3.3	4,772
59期末(2023年3月7日)	9,538	300	△ 4.3	25,213	△ 8.6	94.0	2.8	6,124
60期末(2023年6月7日)	10,408	10	9.2	27,377	8.6	94.6	3.2	9,774
61期末(2023年9月7日)	11,665	100	13.0	30,920	12.9	94.1	3.6	16,170
62期末(2023年12月7日)	11,575	750	5.7	33,161	7.2	97.8	1.0	21,934

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(税引後配当込み、円換算)は、MSCI Inc. (「MSCI」)の承諾を得て、MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

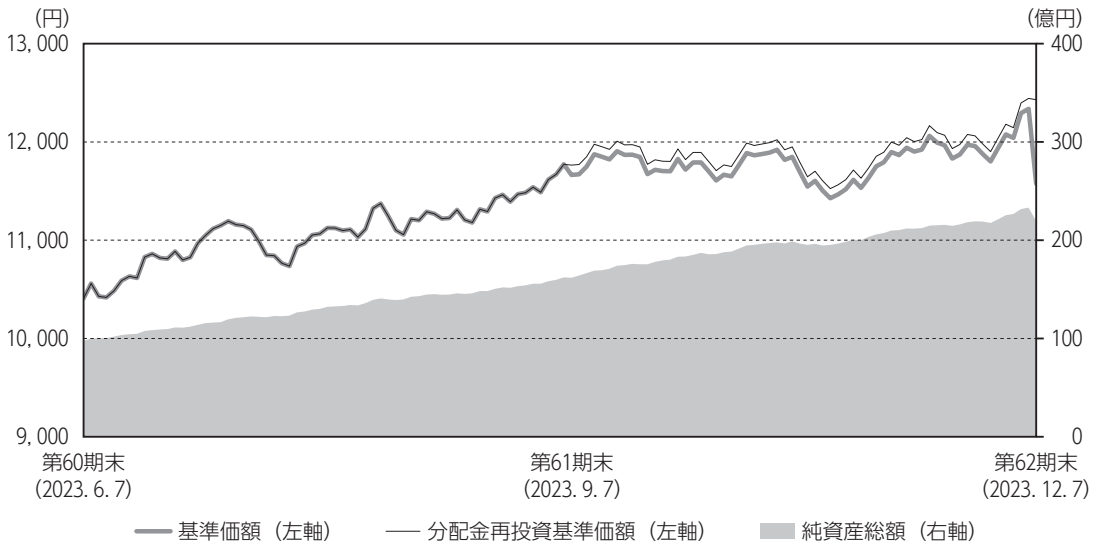
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第61期首：10,408円

第62期末：11,575円（既払分配金850円）

騰落率：19.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インド株式市況が上昇したことやインド・ルピーが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インド株ファンド

	年 月 日	基 準 価 額		MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		円	%	(参考指数)	%		
第61期	(期首)2023年6月7日	10,408	—	27,377	—	94.6	3.2
	6月末	11,118	6.8	29,282	7.0	94.5	2.9
	7月末	11,112	6.8	29,348	7.2	94.9	3.1
	8月末	11,539	10.9	30,278	10.6	94.1	3.7
	(期末)2023年9月7日	11,765	13.0	30,920	12.9	94.1	3.6
第62期	(期首)2023年9月7日	11,665	—	30,920	—	94.1	3.6
	9月末	11,719	0.5	31,050	0.4	94.1	3.2
	10月末	11,518	△ 1.3	30,478	△ 1.4	94.4	3.5
	11月末	11,938	2.3	31,810	2.9	93.7	3.2
	(期末)2023年12月7日	12,325	5.7	33,161	7.2	97.8	1.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 6. 8 ~ 2023. 12. 7)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、RBI（インド準備銀行）の利上げ打ち止め観測やインド経済の成長期待が支援材料となり、当作成期首から2023年9月半ばにかけて堅調に推移しました。10月にかけては、中東情勢の緊迫化や米国の金融引き締め長期化懸念による米国金利の上昇などが嫌気され、調整しました。その後は、米国の追加利上げ観測の後退や市場予想を上回る7-9月期実質GDP（国内総生産）成長率が好感されたほか、州議会選挙の結果からモディ首相続投の期待が高まり、当作成期末にかけて上昇しました。

■為替相場

インド・ルピーは、円に対して上昇しました。

インド・ルピーは、当作成期首から2023年6月末にかけて、日銀の金融緩和継続姿勢を背景に対円で上昇したものの、7月半ばには、日銀の政策修正観測などを受けて対円で反落（円高）しました。その後10月末にかけて、米国の金融引き締め長期化観測を受けた米国金利の上昇から円安米ドル高が進行する中、株式市場への海外資金の流入などを背景にインド・ルピーが対米ドルで下げたことを受け、対円で上昇しました。11月から当作成期末にかけては、日銀のマイナス金利解除観測から、対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクター、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 6. 8 ~ 2023. 12. 7)

当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

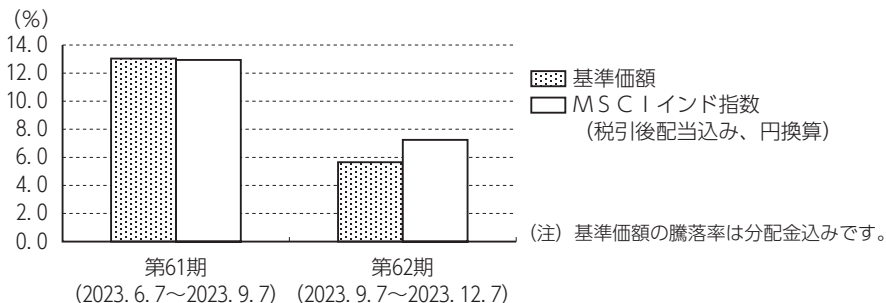
ダイワ・インド株マザーファンド

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、貸出残高や手数料収入の増加などによる長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間層の増加などを背景とした需要の長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連などを中心に、一般消費財・サービスセクターも組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第61期		第62期	
	2023年6月8日 ～2023年9月7日		2023年9月8日 ～2023年12月7日	
当期分配金（税込み） (円)	100		750	
対基準価額比率 (%)	0.85		6.09	
当期の収益 (円)	100		616	
当期の収益以外 (円)	—		133	
翌期繰越分配対象額 (円)	5,424		5,295	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第61期	第62期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.57円	✓ 39.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 1,062.86	✓ 576.59
(c) 収益調整金	4,076.56	4,510.86
(d) 分配準備積立金	347.33	✓ 918.81
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	5,524.34	6,045.75
(f) 分配金	100.00	750.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,424.34	5,295.75

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第61期～第62期 (2023. 6. 8～2023. 12. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	106円	0. 924%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 450円です。
(投 信 会 社)	(50)	(0. 440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0. 440)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0. 044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	22	0. 191	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(22)	(0. 189)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 002)	
有 価 証 券 取 引 税	9	0. 079	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(9)	(0. 079)	
そ の 他 費 用	15	0. 128	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0. 041)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(10)	(0. 085)	減資に係る税金支払い、インドキャピタルゲイン課税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	151	1. 322	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

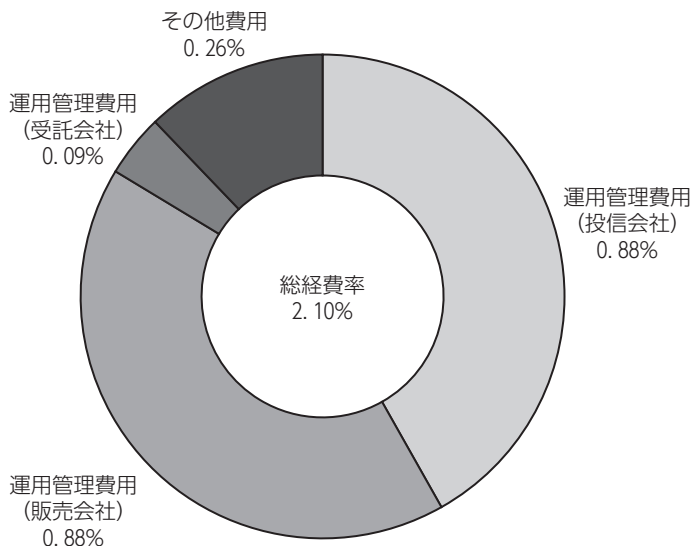
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.10%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年6月8日から2023年12月7日まで)

決算期	第 61 期 ～ 第 62 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株マザーファンド	2,840,062	10,510,800	327,332	1,284,300

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年6月8日から2023年12月7日まで)

項 目	第 61 期 ～ 第 62 期
	ダイワ・インド株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	10,147,917千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,874,052千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第60期末	第 62 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド株マザーファンド	2,928,703	5,441,433	21,903,946

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月7日現在

項 目	第 62 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株マザーファンド	21,903,946	93.1
コール・ローン等、その他	1,629,643	6.9
投資信託財産総額	23,533,589	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.17円、1インド・ルピー=1.78円、1ユーロ=158.49円です。

(注3) ダイワ・インド株マザーファンドにおいて、第62期末における外貨建純資産(21,752,010千円)の投資信託財産総額(21,904,172千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年9月7日)、(2023年12月7日)現在

項 目	第61期末	第62期末
(A) 資産	16,439,717,136円	23,533,589,472円
コール・ローン等	296,947,343	1,629,643,287
ダイワ・インド株マザーファンド (評価額)	16,142,769,793	21,903,946,185
(B) 負債	269,641,465	1,598,686,916
未払収益分配金	138,619,226	1,421,232,964
未払解約金	70,590,888	86,779,304
未払信託報酬	60,252,071	90,226,878
その他未払費用	179,280	447,770
(C) 純資産総額 (A - B)	16,170,075,671	21,934,902,556
元本	13,861,922,621	18,949,772,860
次期繰越損益金	2,308,153,050	2,985,129,696
(D) 受益権総口数	13,861,922,621口	18,949,772,860口
1万口当り基準価額 (C/D)	11,665円	11,575円

* 当作成期首における元本額は9,391,377,358円、当作成期間(第61期～第62期)中における追加設定元本額は11,916,430,747円、同解約元本額は2,358,035,245円です。

* 第62期末の計算口数当りの純資産額は11,575円です。

■損益の状況

第61期 自 2023年6月8日 至 2023年9月7日
 第62期 自 2023年9月8日 至 2023年12月7日

項 目	第61期	第62期
(A) 配当等収益	△ 15,318円	△ 8,000円
受取利息	613	337
支払利息	△ 15,931	△ 8,337
(B) 有価証券売買損益	1,585,864,985	1,257,952,825
売買益	1,647,057,898	1,276,923,208
売買損	△ 61,192,913	△ 18,970,383
(C) 信託報酬等	△ 60,431,351	△ 90,495,368
(D) 当期損益金 (A+B+C)	1,525,418,316	1,167,449,457
(E) 前期繰越損益金	481,479,599	1,741,127,789
(F) 追加信託差損益金	439,874,361	1,497,785,414
(配当等相当額)	(5,650,907,977)	(8,547,988,546)
(売買損益相当額)	(△5,211,033,616)	(△7,050,203,132)
(G) 合計 (D+E+F)	2,446,772,276	4,406,362,660
(H) 収益分配金	△ 138,619,226	△1,421,232,964
次期繰越損益金 (G+H)	2,308,153,050	2,985,129,696
追加信託差損益金	439,874,361	1,497,785,414
(配当等相当額)	(5,650,907,977)	(8,547,988,546)
(売買損益相当額)	(△5,211,033,616)	(△7,050,203,132)
分配準備積立金	1,868,278,689	1,487,344,282

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第61期	第62期
(a) 経費控除後の配当等収益	52,084,127円	74,808,636円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,473,334,189	1,092,640,821
(c) 収益調整金	5,650,907,977	8,547,988,546
(d) 分配準備積立金	481,479,599	1,741,127,789
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	7,657,805,892	11,456,565,792
(f) 分配金	138,619,226	1,421,232,964
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	7,519,186,666	10,035,332,828
(h) 受益権総口数	13,861,922,621□	18,949,772,860□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	第61期	第62期
	100円	750円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2028年6月7日から2050年6月7日に変更しました。

ダイワ・インド株マザーファンド

運用報告書 第17期 (決算日 2023年12月7日)

(作成対象期間 2022年12月8日～2023年12月7日)

ダイワ・インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するインドの企業の株式およびDR（預託証券）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

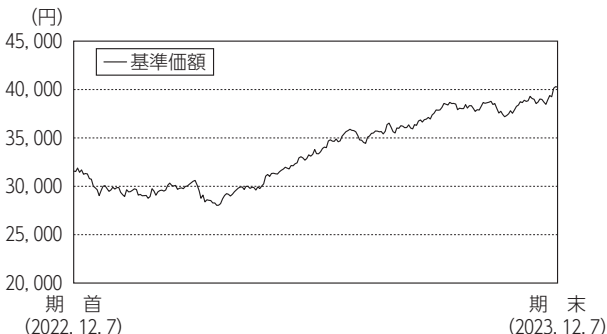
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：31,575円 期末：40,254円 騰落率：27.5%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式市況が上昇したことやインド・ルピーが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首から2023年1月にかけて、世界の主要中央銀行の金融引き締め姿勢や世界的な景気減速懸念を背景に、下落しました。その後も、インド有数の新興財閥であるアダニ・グループの不正行為疑惑や欧米の金融不安が嫌気され、3月にかけて下落基調が続きました。4月以降は、RBI（インド準備銀行）の利上げ打ち止め観測やインド経済の成長期待が支援材料となり、9月半ばにかけて堅調に推移しました。10月にかけては、中東情勢の緊迫化や米国の金融引き締め長期化懸念による米国金利の上昇などが嫌気され、調整しました。その後は、米国の追加利上げ観測の後退や市場予想を上回る7-9月期実質GDP（国内総生産）成長率が好感されたほか、州議会選挙の結果からモディ首相続投の期待が高まり、当作成期末にかけて上昇しました。

○為替相場

インド・ルピーは、円安インド・ルピー高となりました。

インド・ルピーは、当作成期首より2023年2月初めにかけて、日銀による想定外の政策修正を受けた円高米ドル安の進行から、対円で下落（円高）しました。6月にかけては、米国金利の上昇による円安米ドル高の進行や日銀の金融緩和継続姿勢を背景に対円で上昇しました。7月半ばには、日銀の政策修正観測などを受けて対円で反落しましたが、10月にかけて、米国の金融引き締め長期化観測を受けた米国金利の上昇から円安米ドル高が進行する中、株式市場への海外資金の流入などを背景にインド・ルピーが対米ドルで下げたことを受け、対円で上昇しました。11月から当作成期末にかけては、日銀のマイナス金利解除観測から、対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや、経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車やホテル関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられた強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

◆ポートフォリオについて

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、貸出残高や手数料収入の増加などによる長期的な業績拡大が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間層の増加などを背景とした需要の長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連などを中心に、一般消費財・サービスセクターも組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

年 月 日	基準 価 額		MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2022年12月7日	31,575	—	27,376	—	94.5	3.4
12月末	29,765	△ 5.7	25,586	△ 6.5	94.0	3.0
2023年1月末	29,030	△ 8.1	24,455	△10.7	94.1	3.2
2月末	29,827	△ 5.5	24,410	△10.8	94.1	2.9
3月末	29,054	△ 8.0	23,759	△13.2	93.5	2.8
4月末	30,244	△ 4.2	24,986	△ 8.7	94.8	3.2
5月末	32,934	4.3	27,086	△ 1.1	94.0	3.4
6月末	35,639	12.9	29,073	6.2	94.7	2.9
7月末	35,679	13.0	29,138	6.4	95.1	3.1
8月末	37,113	17.5	30,062	9.8	94.3	3.7
9月末	38,083	20.6	30,828	12.6	94.3	3.2
10月末	37,487	18.7	30,261	10.5	94.6	3.5
11月末	38,916	23.2	31,583	15.4	93.8	3.2
(期末) 2023年12月7日	40,254	27.5	32,924	20.3	97.9	1.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCIインド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数（税引後配当込み、インド・ルピーベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関与していないか責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※参考指数を「MSCIインド指数（配当込み、円換算）」から「MSCIインド指数（税引後配当込み、円換算）」に変更しました。

《今後の運用方針》

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行います。セクターでは、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間層の増加などを背景に需要の長期的な拡大が見込まれる自動車やホテル関連を中心に、一般消費財・サービスセクターに注目しています。個別銘柄では、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2022年12月8日から2023年12月7日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 8,128 ()	千アメリカ・ドル 19,206 ()	百株 —	千アメリカ・ドル —
	インド	百株 68,063.34 (961.52)	千インド・ルピー 6,524,750 ()	百株 3,775	千インド・ルピー 255,731

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	135円 (134)
(先物・オプション)	(2)
有価証券取引税 (株式)	56 (56)
その他費用 (保管費用)	105 (31)
(その他)	(74)
合 計	296

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2022年12月8日から2023年12月7日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	5,195	5,199	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2022年12月8日から2023年12月7日まで)

銘 柄	当 付			期 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	350.6	1,139,640	3,250	WIPRO LTD (インド)	289.5	212,435	733
HDFC BANK LIMITED (インド)	333.888	932,998	2,794	CREDITACCESS GRAMEEN LTD (インド)	28	78,413	2,800
INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	382.5	930,613	2,432	HDFC BANK LIMITED (インド)	25	68,866	2,754
AXIS BANK LTD (インド)	497.386	830,452	1,669	CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND (インド)	20	36,920	1,846
LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	163.7	739,398	4,516	CUMMINS INDIA LTD (インド)	11	28,295	2,572
MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	41.478	699,033	16,853	AIA ENGINEERING LTD (インド)	4	26,076	6,519
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	79.7	672,506	8,437				
HINDUSTAN UNILEVER LTD (インド)	108.644	486,784	4,480				
ABB INDIA LTD (インド)	64.471	450,816	6,992				
TVS MOTOR CO LTD (インド)	181.327	426,195	2,350				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
ICICI BANK LTD-SPON ADR	1,221	4,727	11,344	1,669,614	金融	
INFOSYS LTD-SP ADR	1,334	5,159	9,126	1,343,113	情報技術	
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	281	1,078	6,360	936,030	エネルギー	
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,836 3銘柄	10,964 3銘柄	26,831	3,948,758 <18.0%>	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
(インド)						
NUVOCO VISTAS LTD	473.56	1,476.58	56,065	99,797	素材	
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD	425	2,827.94	161,857	288,105	一般消費財・サービス	
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND	739	2,348.89	271,108	482,573	金融	
PAGE INDUSTRIES LTD	11	36.45	133,891	238,326	一般消費財・サービス	
ENDURANCE TECHNOLOGIES LTD	142	504.74	85,333	151,894	一般消費財・サービス	
PHOENIX MILLS LTD	251	950.43	213,618	380,241	不動産	
JK CEMENT LTD	64	219	82,789	147,365	素材	
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA	295	1,170	169,146	301,081	金融	
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	—	3,666.57	248,355	442,072	金融	
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	83	293	142,367	253,413	資本財・サービス	
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	164	645.62	193,175	343,853	金融	
CHALET HOTELS LTD	1,063.44	3,781.94	222,983	396,910	一般消費財・サービス	
SKF INDIA LTD	105.07	366.12	169,227	301,225	資本財・サービス	
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	275	1,102.24	130,345	232,014	素材	
CREDITACCESS GRAMEEN LTD	350	898.19	155,440	276,684	金融	
TATA STEEL LTD	4,120	15,756.16	207,744	369,786	素材	
CIPLA LTD	601	2,212.91	266,699	474,725	ヘルスケア	
AXIS BANK LTD	1,798	6,771.86	758,786	1,350,640	金融	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	148	562.78	597,995	1,064,432	一般消費財・サービス	
DLF LTD	1,050	3,728	243,419	433,287	不動産	
ASHOK LEYLAND LTD	1,946	6,923.7	122,341	217,768	資本財・サービス	
HINDUSTAN UNILEVER LTD	381	1,467.44	376,787	670,681	生活必需品	
ULTRATECH CEMENT LTD	89	321.92	296,584	527,921	素材	
BHARAT FORGE LTD	553	1,985	232,066	413,078	一般消費財・サービス	
CUMMINS INDIA LTD	391	1,045	204,381	363,798	資本財・サービス	
DIVI'S LABORATORIES LTD	140	528	197,178	350,978	ヘルスケア	
SHREE CEMENT LTD	20	74.05	205,852	366,417	素材	
TECH MAHINDRA LTD	—	1,710.42	209,560	373,017	情報技術	
AIA ENGINEERING LTD	141.25	377.67	139,803	248,851	資本財・サービス	
TVS MOTOR CO LTD	679	2,492.27	470,727	837,894	一般消費財・サービス	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	1,633	5,821.21	304,449	541,919	素材	
WIPRO LTD	1,030	—	—	—	情報技術	
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	65	242	87,219	155,250	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	579.9	2,216.9	752,038	1,338,629	資本財・サービス	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	651	—	—	—	金融	

銘柄	株数	期末				業種等
		株数	評価額		千円	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
HDFC BANK LIMITED	百株 642	百株 6,106.4	千インド・ルピー 993,999	千円 1,769,319	金融 資本財・サービス 一般消費財・サービス	
ABB INDIA LTD	232	876.71	415,420	739,448		
INDIAN HOTELS CO LTD	1,976	7,048.97	308,709	549,503		
インド・ルピー通貨計	株数、金額 23,307.22 銘柄数<比率> 36銘柄	88,557.08 36銘柄	9,827,477	17,492,909 <79.9%>		
ファンド合計	株数、金額 26,143.22 銘柄数<比率> 39銘柄	99,521.08 39銘柄	—	21,441,667 <97.9%>		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 IFSC NIFTY 50 (インド)	百万円 217	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月7日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 21,441,667	% 97.9
コール・ローン等、その他	462,504	2.1
投資信託財産総額	21,904,172	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.17円、1インド・ルピー=1.78円、1ユーロ=158.49円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (21,752,010千円) の投資信託財産総額 (21,904,172千円) に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月7日現在

項目	当期末
(A)資産	21,904,172,440円
コール・ローン等	266,057,883
株式 (評価額)	21,441,667,620
未収入金	11,569,916
未収配当金	370,211
差入委託証拠金	184,506,810
(B)負債	—
(C)純資産総額 (A-B)	21,904,172,440
元本	5,441,433,444
次期繰越損益金	16,462,738,996
(D)受益権総口数	5,441,433,444口
1万口当り基準価額 (C/D)	40,254円

* 期首における元本額は1,502,274,001円、当作成期間中における追加設定元本額は4,328,431,921円、同解約元本額は389,272,478円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

 ダイワ・インド株ファンド 5,441,433,444円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は40,254円です。

■損益の状況

当期 自 2022年12月 8 日 至 2023年12月 7 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	155,452,326円
受取配当金	99,533,181
受取利息	874,583
その他収益金	55,121,758
支払利息	△ 77,196
(B) 有価証券売買損益	3,443,933,654
売買益	3,521,832,030
売買損	△ 77,898,376
(C) 先物取引等損益	34,670,456
取引益	78,709,312
取引損	△ 44,038,856
(D) その他費用	△ 35,030,021
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	3,599,026,415
(F) 前期繰越損益金	3,241,172,024
(G) 解約差損益金	△ 1,080,027,522
(H) 追加信託差損益金	10,702,568,079
(I) 合計 (E + F + G + H)	16,462,738,996
次期繰越損益金 (I)	16,462,738,996

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。